

令和5年度「知事とのふれあいフォーラム」発言事項に係る対応状況（地域版）

市町村	発言要旨	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当
西都市 令和5年5月11日開催	店頭で販売される農産物の価格は高くなっているが、これは飼料や肥料が高騰して価格が高くなっているため、現場は非常に大変な思いをしている。肥料の補助金を活用しているが今後どれだけ事業を継続できるか、見通しが立っていない。	令和5年度11月補正予算で「堆肥等利活用促進緊急体制整備事業」を構築	堆肥散布機械や堆肥調整施設の導入を支援し、高騰している化学肥料の代替として、安価な県産堆肥の利活用を促進し、肥料コストの削減を図るもの。	農業普及技術課 環境保全担当
都城市 令和5年7月7日開催	物流の2024年問題への対応	提言を踏まえて「物流の2024年問題」に向けた物流効率化対策事業を改善	モーダルシフトの促進や運送事業者の業務の自動化・機械化等に対する支援とともに、荷主・運送事業者・消費者向けの啓発活動を実施。	総合交通課 広域交通・物流担当
	移住推進のために、空き家の解体やリニューアル、有効活用の取組が必要。	令和6年度新規事業「移住者の受入環境づくりサポート事業」に反映予定	空き家の利活用を啓発する講演会を開催するとともに、市町村にアドバイザーを派遣し、空き家バンクの運営を支援する。	中山間・地域政策課 移住・定住推進担当
	現在、肥育農家は枝肉価格が安いために出荷を控えているが、牛舎が空かないために新しい子牛を受け入れられないから繁殖農家も頭数を増やすことができず。繁殖農家が頭数を増やすためには、牛舎の増築が必要であり、市からも協力を得ているが、県からも支援をお願いしたい。	畜産クラスター事業により対応が可能	国の畜産クラスター事業により牛舎を設置する際に1/2以内の補助が措置されている。	畜産振興課 畜産企画担当

市町村	発言要旨	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当
都城市 令和5年7月7日開催	<ul style="list-style-type: none"> ・都城志布志道路の整備 ・国への要望活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・都城志布志道路は、令和6年度の全線開通に向けて、国土交通省、鹿児島県において整備中。 ・引き続き、必要な予算・財源の確保や本県への重点配分などについて、国に訴えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未供用区間の「都城IC」～「乙房IC」間を国土交通省が、「志布志IC」～「志布志港」を鹿児島県が整備中であり、令和6年度開通予定。 ・上記2区間の開通で、都城志布志道路が全線開通となる。 ・令和5年度知事要望実績 知事要望3回、うち1回は市長会・町村会と合同要望（財務省、国土交通省） 	道路建設課 計画調査担当
串間市 令和5年8月25日開催	<p>燃料や肥料の高騰や機械の購入などで経済的に厳しい。農業は串間市の魅力と強みの一つであるから、知事には農業者の経営支援や補助金を検討してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・普及センターに営農相談窓口を設置し、農家の営農相談に対応 ・JAと協同で運営する農業経営体支援センター地域指導班において経営支援を実施 ・令和5年度11月補正予算で「堆肥等利活用促進緊急体制整備事業」を構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・営農相談窓口では、燃油・肥料等の価格高騰にかかる経営相談等に対して、技術面、経営面の助言指導を実施 ・JAと普及センターが連携して、青色申告書等の決算データや販売出荷データを基に経営コンサルを実施 ・堆肥散布機械や堆肥調整施設の導入を支援し、高騰している化学肥料の代替として、安価な県産堆肥の利活用を促進し、肥料コストの削減を図るもの。 	農業普及技術課 普及企画担当 環境保全担当
五ヶ瀬町 令和5年9月21日開催	<p>ぎおんの里づくり協議会の農林業に関する部会では、野生動物の被害などの問題に直面している。私たちは自然を守る義務があり、町や県と協力して解決していきたい。</p>	<p>令和6年度改善事業「有害鳥獣捕獲強化総合対策事業」に反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の有害鳥獣捕獲班の活動に対する助成や捕獲班の指導者に対する安全技術向上講習会開催への予算の増額。 ・狩猟によるシカ捕獲を推進するため、免許取得後3年未満の経験の浅い狩猟者がシカを捕獲した場合の助成額の増額。 	自然環境課 野生生物担当
椎葉村 令和5年11月22日開催	<p>携帯電話の電波が届かない地域があり、緊急の連絡等に困るケースがある。携帯電話の電波の拡充をお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の基地局整備等に関しては、希望する市町村が整備方針等を整理し、国に対して基地局整備等に関する補助金を申請。 ・県は、市町村が行う一連の手続きを支援。 	<p>携帯電話の基地局整備等に関しては、まず希望する市町村において整備地域等の方針を決め、携帯電話事業者と整備に向けた協議を行った上で、国に申請を行う。県は、携帯電話事業者との協議や国への申請など一連の手続きにおける支援を行う。</p>	デジタル推進課 デジタル基盤担当

市町村	発言要旨	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当
椎葉村 <small>令和5年11月22日開催</small>	椎葉村では住民の高い山林保全意識により、再造林率ほぼ100%を達成している。この施策は未来の森づくりに欠かせないので、継続してほしい。	提言等を踏まえ「グリーン成長プロジェクト」により再造林対策を強化しており、以下の事業等に反映 ①再造林推進ネットワーク支援事業 ②再造林率向上強化対策事業	①再造林推進ネットワーク支援事業 県内8地域に素材生産事業体、造林事業者等から構成する再造林推進ネットワークを設け、伐採箇所の情報等を共有し再造林に向けた調整を行うなど、ネットワークを中心に再造林対策を強力に推進する。 ②再造林率向上強化対策事業 徹底した再造林の省力化・低コスト化を図った上で、市町村と連携して、植栽から下刈りまでの補助金の高上げを行い、森林所有者の負担軽減を図るとともに、造林作業員の労務賃金引き上げにつなげる。	森林経営課 森林整備担当
	再造林の遅れにより、将来の林業資源の確保にも不安がある。林業の存続と発展のためには再造林の促進を行う必要がある。県には林業に対する支援策を強化してほしい。			
	しいたけの販路拡大に向けて、村外での販売などを行っているが、海外輸出はできていない。東京方面にも営業を続けるが、遠くて時間と予算が必要である。販路拡大のための助成を引き続きお願いしたい。	令和6年度改善事業「しいたけ等輸出拡大・PR支援事業」に反映	事業者等の輸出拡大を目的とした活動に要する経費を支援	山村・木材振興課
椎葉村の高冷地野菜や花き類は、県内で高く評価されており、景観や環境にも良い影響を与えている。しかし、後継者不足や高齢化が課題である。これらの農産物の生産を維持・拡大するために、県に技術・販路の支援や補助を求めたい。	・東臼杵南部農業改良普及センター普及指導活動計画の専門プロジェクト「椎葉村の高冷地ほうれんそう生産力向上」において支援	・共同選果の利用拡大に向け、共選に適した品種の導入に向けた実証ほ設置等を実施 ・個別面談を実施し、生産面、経営面の課題の把握及び改善策の提案を実施 ・生産性向上に向け、べと病対策を支援	農業普及技術課 普及企画担当	

市町村	発言要旨	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当
<p>椎葉村 令和5年11月22日開催</p>	<p>宮崎牛は全国的に知られるようになったが、競り市での価格低下が農家の減少を招いている。以前は平均70万円だった価格が、現在は30万円程度にまで下がっており、この状況が続くのか心配である。血統改良による価値向上を図りつつ、農家への支援と補助を継続し、宮崎牛の品質保持と販売促進に努めてほしい。</p>	<p>・『血統改良』は「宮崎県肉用牛改良総合対策事業」により実施 ・『販売促進』は令和5年度2月補正予算の「県産牛肉消費拡大緊急対策事業」等により実施</p>	<p>・『血統改良』は「宮崎県肉用牛改良総合対策事業」にて継続して実施しており、一般社団法人宮崎県家畜改良事業団において、種雄牛を造成・管理している。また、種雄牛を造成する際には、必要に応じて他県の優良な血統も取り入れる等、血統改良を進めている。 ・宮崎牛の販売促進及び認知度向上のため、イベント開催や広告などに努めていく。</p>	<p>畜産振興課 肉用牛振興担当</p>
	<p>特に、林業や建設業は、椎葉村の自然環境を守り、発展させるために重要な産業であるが、担い手不足が深刻な問題となっている。建設業の労働環境の改善や魅力の向上に向けて、県と建設業協会との連携を強化していただきたい。</p>	<p>・建設業協会とは、定期的に意見交換会を実施しており、建設業の労働環境の改善や魅力の向上に向けて議論を重ねている。 ・令和5年度には建設業協会青年部会と協働で魅力発信動画を制作。令和6年度も魅力発信の取組を連携して行う。</p>	<p>・県と建設業協会の意見交換会 (R5)8回 (R4)8回 (R3)9回 ・県と建設業協会青年部会との協働 R5.10月にICT建機に関する動画を撮影し、R6.1月からYouTubeにて公開中。R6.3月に振り返りと来年度の取組について意見交換。</p>	<p>管理課 建設業振興担当 技術企画課 技術調整担当</p>
	<p>道路の整備</p>	<p>椎葉村内では、国道327号佐土の谷工区をはじめとした、7つの工区で道路整備を実施中。</p>	<p>国道327号 佐土の谷工区 国道327号 尾平工区 国道265号 十根川工区 国道388号 矢立工区 上椎葉湯前線 六弥太工区 上椎葉湯前線 春山1工区 上椎葉湯前線 春山2工区</p>	<p>道路建設課 計画調査担当</p>

市町村	発言要旨	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当
椎葉村 令和5年11月22日開催	少子高齢化の影響で神楽の参加者が減少している。若者が帰郷しやすい環境を整え、神楽を継続していくための対策が必要である。	「みやぎきの神楽連絡協議会」の設置、開催。	令和4年度より、県内神楽保存団体関係者が情報共有や課題解決に向けた協議を行う場としての「みやぎきの神楽連絡協議会」を開催している。今後は県内組織の充実をはかり、神楽の保存・継承の支援に向けた取組を進めていく。	文化財課 文化財担当
高原町 令和5年12月20日開催	高齢者施設の経営が厳しい中、政府に対して介護人材の給料を引き上げるよう働きかけて欲しい。	今年度、介護報酬の引上げを国に要望	令和6年2月から介護職員の賃上げを目的とする補助制度が設けられたほか、介護報酬においても同年6月から処遇改善加算率が引き上げられる見込み。	長寿介護課 居宅介護担当 施設介護担当
	土地改良区の重要な収入源となる小水力発電について、県の小水力発電導入に係る補助制度をぜひ継続してもらいたい。	農業水利施設を活用した小水力発電の導入に向け、県単「小水力発電等農村地域導入支援事業」を継続	施設整備を希望する地区に対して、調査設計等の導入支援や施設整備にかかる費用の一部を補助。令和5年度は2地区が本事業を活用。	農村整備課 土地改良施設保全担当
	霧島山のふもとにある高原土地改良区では、小水力発電により平均500万円の売り上げを得て運営が安定している。しかし、高原町にはまだ水力発電の可能性があると思う。高齢化や合併などの問題に直面している土地改良区にとって、水力発電は貴重な収入源となり、運営の維持に貢献できる。高原町の農地を守っていくためにも、県には小水力発電の補助金制度をぜひ継続してもらいたい。	・平成16年度より小水力発電導入に対する市町村支援を実施し、事業化を検討するために必要な可能性調査や技術支援を無償で行っており、次年度以降も継続する予定である。 ・土地改良区の場合は、市町村を窓口とすることで、支援を受けることが可能である。	・平成30年度から令和4年度までの5年間で、5市村（8地点）の可能性調査、1町（1地点）の技術支援を実施済み。 ・高原町については、平成27年度から平成28年度にかけて農業用水の狭野地点（狭野土地改良区）の可能性調査を実施している。	企業局工務管理課 技術調整・企画担当
高鍋町 令和6年2月8日開催	子どもの居場所づくりや生活困窮者等支援活動の継続には食料の供給等の支援が必要。	令和6年度新規事業「子どもの居場所等連携体制構築事業」に反映予定	企業等からの寄贈食品等を受け入れ、子どもの居場所づくりや生活困窮者支援に取り組む団体へ提供する「子どもの居場所等支援センター」を立ち上げ、全県的な食料供給体制の構築を図る予定。	福祉保健課 保護担当

市町村	発言要旨	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当
<p>高鍋町 令和6年2月8日開催</p>	<p>現在、米粉の製品開発に取り組んでおり、アレルギー対策として米を用いた麺作りの試みを進めている。しかし、農業の現状は厳しく、米離れが進行し、農業従事者の高齢化と体力の問題から設備維持が困難となってきている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度新規事業「県産米利用拡大支援事業」で対応予定 ・令和6年度新規事業「高性能スマート機械導入モデル経営体支援事業」で対応予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・試作に係る経費の支援や、メディアを活用したPRなど、米粉商品の開発・販売を支援することとしている。 ・自動化が可能な田植機等の導入支援により、作業の効率化と、未経験者も含めたオペレータの確保により、地域農業の発展・維持を進める。 	<p>農産園芸課 水田農業担当</p>